

レジメン名		G-ペンダムスチン療法（1コース目）			
対象がん種	悪性リンパ腫	対象患者	催吐リスク	中等度	
			1コースの日数	28	
内服抗がん剤の有無	なし		投与予定回数	1	
			投与回数上限	1	
※有の場合薬剤名					

副作用情報(頻度が高い、特徴的な副作用など)		
項目	頻度(%)	対処法(減量・中止など)
血液毒性	好中球減少	36.8%
	リンパ球減少	
	血小板減少	15.5%
その他	悪心・嘔吐	86.0%
	皮膚障害	52.6%
	感染症	63.2%

レジメン内容(支持療法を含む)

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度・時間	投与時刻(必要時)	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr			●	●						●																								
2	トリアキシン注射液 生理食塩液	90mg/m2 36mL/m2 250mL	点滴静注	1時間			●	●																														
3	ボララミン生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	100mL/h ※2回目以降は前回投与で infusion reaction の発現がなかったら不要			●							●																								
4	ガザイバ生理食塩液	1000mg 210mL	点滴静注	初回 12.5mL/hr、30分ごとに12.5mL/hrずつ最大100mL/hrまで増量可 【2回目以降・前回の投与で Garde2以上の infusion reaction が発現しなかった場合】25mL/hrで開始し、30分ごとに25mL/hrずつ最大100mL/hrまで増量可			●							●																								
5	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr			●	●						●																								

内服抗がん剤・支持療法薬

Rp	薬剤名	投与量	用法	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					
1	グラネセトロンゼリー or カイトリル	2mg	化学療法前		●	●																															
2	カロナール	900mg	ガザイバ30分前									●																									
3	プレドニゾン錠(プレドニ注) or デカドロン錠(デキサート注) or ソル・メドロール注	100mg or 20mg or 80mg	ガザイバ投与1時間前までに投与完了 ※2回目以降は前回投与で infusion reaction の発現がなかったら不要									●																									
4	他、適宜ST合剤、アシクロビルなどの抗ウイルス薬、G-CSFなど																																				

day 1

主管

投与方法

薬剤・用量

投与速度/時間

投与時刻(必要時)

漏出時リスク

フィルター

遮光

備考

①

点滴静注

生理食塩液	50mL
-------	------

100 ml/h

②

点滴静注

トリアキシン注射液	90mg/m2
生理食塩液	36mL/m2 250mL

1時間

炎症性

フィルター不要

バッグ、ルートともに遮光不要

血管痛がある場合、投与速度を遅くすることが出来るが、調製後3時間以内に投与を終了すること

③

点滴静注

ボララミン生理食塩液	5mg 50mL
------------	-------------

100 ml/h

④

点滴静注

ガザイバ生理食塩液	1000mg 210mL
-----------	-----------------

備考欄参照

軽度起炎症性

フィルター必要

バッグ、ルートともに遮光不要

初回 12.5mL/hr、30分ごとに12.5mL/hrずつ最大100mL/hrまで増量可

⑤

点滴静注

生理食塩液	5mg 50mL
-------	-------------

100 ml/h

day 2

主管

①

②

③

王官

投与方法

①

点滴静注	
生理食塩液	50mL

100 ml/h

②

点滴静注	
トレアキシン 注射用水	90mg/m2 36mL/m2
生理食塩液	250mL

1時間

③

点滴静注	
生理食塩液	5mg 50mL

100 ml/h

投与速度/時間
投与時刻(必要時)
漏出時リスク
フィルター
遮光

炎症性
フィルター不要
バッグ、ルートともに遮光不要

血管痛がある場合、投与速度を遅く
することが出来るが、調製後3時間
以内に投与を終了すること

備考

day8

主管

投与方法

①

点滴静注	
生理食塩液	50mL

100 ml/h

②

点滴静注	
ボラミン	5mg 50mL
生理食塩液	100 ml/h

100 ml/h

③

点滴静注	
ガザイバ	1000mg 210mL
生理食塩液	

備考欄参照

④

点滴静注	
生理食塩液	5mg 50mL

100 ml/h

投与速度/時間
投与時刻(必要時)
漏出時リスク
フィルター
遮光

軽度起炎症性
フィルター必要
バッグ、ルートともに遮光不要

備考

※2回目以降は前回投与でinfusion
reactionの発現がなかったら不要

【2回目以降:前回の投与で
Garde2以上のinfusion reactionが
発現しなかった場合】
25mL/hrで開始し、30分ごとに
25mL/hrずつ
最大 100mL/hrまで増量可

day15

主管

投与方法

①

点滴静注	
生理食塩液	50mL

100 ml/h

②

点滴静注	
ボラミン	5mg 50mL
生理食塩液	100 ml/h

100 ml/h

③

点滴静注	
ガザイバ	1000mg 210mL
生理食塩液	

備考欄参照

④

点滴静注	
生理食塩液	5mg 50mL

100 ml/h

投与速度/時間
投与時刻(必要時)
漏出時リスク
フィルター
遮光

軽度起炎症性
フィルター必要
バッグ、ルートともに遮光不要

備考

※2回目以降は前回投与でinfusion
reactionの発現がなかったら不要

【2回目以降:前回の投与で
Garde2以上のinfusion reactionが
発現しなかった場合】
25mL/hrで開始し、30分ごとに
25mL/hrずつ
最大 100mL/hrまで増量可